

2025年9月30日

小山田小

町田市立小山田小学校
校長 悴田 隆良
令和7年度学校だより 第6号

<http://www.machida-ky.jp/e-oyamada/>

感謝の気持ち ～ 実りの秋

校長 悴田 隆良

先日の全校朝会（リモート）で、私から子供たちに一つ質問をしてみました。「2学期が始まった校舎に今までと違うところがあることに気が付きましたか？」すると、画面上の様子ではありますが、たくさんの子供たちが反応していました。「そうですね。校庭から校舎を見上げると、**小山田小学校** という看板が付きました。これは夏休みの暑い毎日の中で地域の方が作ってくださり、学校にプレゼントしてくれたものです。」と話しました。続けて、「先日の学校公開では“防災”についてたくさんのかことを学びましたが、その時に多くの地域の方々が集まって、お米を炊いていました。“炊き出し”というのですが、これも皆さんや地域に住む人たちのために訓練しているのです。」という話をしました。（消防署や消防団の皆さんの話もしようと思っていたのですが抜けてしまいました）

「学校のために、子供たちのためにと、いろいろな人が皆さんを大切に思い、関わってくれています。」そのことをあらためて伝えたい気持ちでした。学習への協力だけでなく、子供たちの日常の生活の中でもたくさんの方々のお力を借っていることを私たち教職員は感謝し、その期待に応える教育活動を進めていかねばならないと思います。ある日、下校の様子を見に行った時に、学校前の横断歩道で毎日交通安全の見守りをしてくださっている方と少しお話しできました。「いつもありがとうございます」と伝え、「私たちも子供たちから元気をもらっているのですよ」と言われました。私はあらためてペコリと頭を下げました。

10月に入ると、各学年で校外に出て学習する機会があります。そして学芸会に向けた活動も始まります。教室では実感できないことを体験して学ぶ場です。子供たち一人一人が自分のめあてや目標をしっかりと、「わかった」「できた」を感じてほしいと思います。そこから子供たちが次の興味・関心を広げ、新しいめあてや目標が生まれて、自分の思いや考えを実現するための学びを進めていくこと、教職員にはそのように導く働きかけをして、子供たちの自ら学ぶ意欲を大きく育ててほしいと思います。

春に5年生が田んぼに植えたもち米の苗が大きく育ち、収穫の時を迎えました。今年の出来栄はいかがでしょうか。この苗づくりから収穫、そしてそれを食すまでに至る一年間にわたる学習は小山田小学校の大きな宝物です。もちろん、ここにも地域や保護者の皆様のお力添えがあります。ありがとうございます。